
魔法少女リリカルなのは Moon Light

アンノーン万歳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは Moon Light

【Nコード】

N0007BA

【作者名】

アンノーン万歳

【あらすじ】

ある一人のリンクスの人生は北米西部にて終を告げる。 鴉殺しなどと呼ばれた彼女には、呆気なさすぎる死。 その命はリンクス戦争で散った大多数の命の一つとして、歴史の中に埋もれていく筈だった

プロローグ（前書き）

またの名を、強襲&斬撃おるれあアンジェ
ムーンライト

プロローグ

北米西部、G A ハーゼン工場

もう何度目かも分からない、レーザーブレードが大気を焼き切る音が響く。

それを“彼” アナトリアの傭兵は回避して、右腕に持つライフルをこちらに向けて放ってくる。

「 はははっ！ 」

かつて伝説とまで呼ばれたレイヴンでありながら、今はアナトリアの傭兵と呼ばれ恐れられるリンクス。

そんな彼との戦いは 国家解体戦争から常に戦場の最前線に居たにも関わらず 今までで最も面白く 有意義な時間だった。

伝説は伊達では無く数多のリンクスを、レイヴンを屠ってきた私の閃光弾の光を受けても、ロックオンもせずにこちらに照準を合わせて射撃を行なってくる。

当然その程度の弾丸が私のネクスト、“オルレア”のプライマルアーマーを貫通する事は無いが……目に見えてコジマ粒子の出力が、プライマルアーマーが減衰していく。

「なるほど、出来る」

追い込まれている、この私
他のリンクスならば絶望するだろうか、それとも興奮して気概を燃え上がらせるだろうか。

「面白い！」

どうやら、私は後者の様だ。

面白い、興奮する、ずっとこの感覚を味わっていたい。

脳内で分泌されるアドレナリンが擬似的な性的な興奮を生み出して、それが齎す快感の様な疼きが下腹部と胸部にぐるぐると渦巻く。

伝説のレイヴン、アナトリアの傭兵　その大袈裟とも思えるほどの名前は伊達では無く、彼は私を燃え上がらせてくれる。

そんな事を考えながらも、私とオルレアは着々と戦術を構築していた。

オーバードブーストを点火　再度フラッシュロケットを放つと同時に、急加速したソレが私に通常の数倍のGを伝えてくる。

接近し、愛刀07-MOONLIGHTを機動。紫色の刀身が一瞬で展開されてオーバードブーストで最高速度に加速した状態で振るわれる

ッ！？

まるで腕を失った様な幻肢感覚が己の右腕に襲いかかる　腕は付いている、なのにまるでもう一本の腕を失ったかの様な

何故か？　見るまでもない……オルレアの、07-MOONLIGHTを振るった左腕が切り落とされたのだ。

私がフラッシュロケットを使った瞬間、ライフルをパージして格納武器のブレードを取り出したか……！

尋常では無い反射神経、一瞬でも判断が遅ければ逆に自分が両断されるであろう作戦を瞬時に行おうとする決断力　成程、これが本

物か

届かない　鴉殺し等と呼ばれ浮かっていた訳ではない、実力が、経験かが圧倒的に彼に比べて不足している。だが、それでも

「過程は関係ない！」

負けるわけにはいかないのだ。
共に戦ったレイレナードの戦友の為に、世界を変える為に、そして何よりも　己の誇りの為に。

クイックブースターを蒸かして反転、アナトリアの傭兵も同じくこちらに向き合いブレードを構える。

「　最後に立っていけば！！」

己を奮い立たせる様な咆哮と共に、クイックブースト　俗に二段クイックブースト等と呼ばれる、オルレアのブースターを最大限に活かせるタイミングで点火。

それと同時に　レーザーキャノンを、フラッシュロケットをパー
ジ……過剰重量が無くなった事により私の速度は急上昇し　アナ
トリアの傭兵のネクストよりも早く、ブレードを振るう。

交差の瞬間、焼け付くような感覚が下半身を襲う。
何が起こったかなど語るまでも無い　彼が勝ち、私が負けた　それだけの話。

私の実力は　鴉殺しなどと呼ばれた私の実力は伝説とまで呼ばれ

た鴉には届かなかった。ただそれだけの。

最後に残った僅かな出力で、パージした私の右腕の07 - MOO
N L I G H Tを“彼”に投げつける。

その刀は、お前にこそ相応しいから 私を打ち負かしたお前にこそ相応しいから。

思えば、今まで何人もの命を奪ってきた。

初めてリンクスとなり戦場に出たその日から 気が付けば戦いを求めて、強者と呼ばれるレイヴンを殺し続け、このリンクス戦争でも何人ものリンクスの命を奪ってきた。

後悔などしていない、それが私の歩んできた道なのだから。

ならば私は、私の人生を誇りに思う。 私が奪った総ての命を傲慢かもしれないが それも総て、私の誇りに思おう。
だからどうか、レイヴン

「誇ってくれ」

どうか、お前も

「それが手向けだ……」

プロローグ（後書き）

この作品に出てくるアンジエはハードモードの為月光二本持ち。

死後己が持つ一振りの月光をアナトリアの傭兵に渡し、もう一振りの月光は後のORCAの剣士へと受け継がれています（それが多分、真改が月光一本しか持っていない理由）

どうやって真改に受け継がれたは個々のフロム脳でお願いします、自分の脳内ではこうなってますが

尚、この小説は某氏の小説に多大な影響を受けております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0007ba/>

魔法少女リリカルなのは Moon Light

2011年12月30日23時46分発行